## 行文線未整備区間における最適ルートがまとまりました

## 村民の皆様へ

都道行文線は、自然環境・生活環境に対する影響の懸念から、清瀬から奥村に至る区間が未整備となっていました。しかし、平成23年の東日本大震災を目の当たりにし、改めて清瀬と奥村を高台で結ぶ防災道路の必要性が再認識されました。村では、村議会における議論も踏まえ東京都に整備再開の要望をした結果、都においても再度整備に向けた動きを始めていただき、このたび以下のようなルート案(村道釣浜線から夜明道路の区間)がまとまりました。

村としては、東京都に協力しながら、引き続き行文線の早期整備をお願いしてまいりますが、村民の皆様におかれましては防災意識の向上に努めていただき、津波警報発令時には高台への避難を心がけていただきますようお願いいたします。

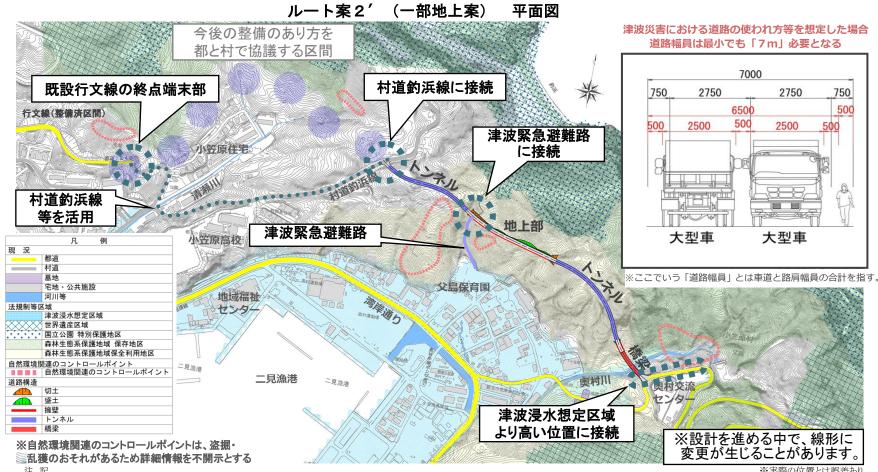
小笠原村長

東京都では、行文線未整備区間のルート決定に向けて、平成28年度からこれまで専門家などを交えた4回の検討会と3回の村民説明会及び村民アンケートを実施してまいりました。これまでの事業経緯などを総合的に勘案した結果、整備要望者である小笠原村として「ルート案2'(一部地上案)」が最適と評価する結論に至りました。

この結果を第4回検討会及び第3回村民説明会においてご説明させていただき、最適ルートを「ルート案2'(一部地上案)」で概ね合意していただくことができましたので、皆様にご報告させていただきます。

なお、今後はこのルート案 2'を基本に詳細な検討や環境調査等を行い、早期整備に向けて進めてまいりたいと考えております。

※これまでの村民説明会の資料については、村のホームページに掲載しております



※実際の位置とは誤差あり

【国立公園 特別保護地区】小笠原自然保護官事務所より提供された「平成27年度小笠原国立公園における公園計画等の点検にかかる基礎調査業務(環境省 関東地方環境事務所)」報告書のGISデータを用い反映 【世界遺産区域】小笠原自然情報センターHP(環境省)のGISデータを用い反映(座標縮尺をもたないデータであるため、地形図に合わせて座標位置を変更し、縮尺を補正)

【産林生熊系保護地域】林野庁関東森林管理局より提供された森林生熊系保護地域のGISデータを用い反映

(座標縮尺をもつデータであるが実態とのずれ等があったため、補正内容等を小笠原総合事務所国有林課と調整の上、林野庁関東森林管理局にデータ修正使用の承諾を得たデータを反映)

## ◆「ルート案2′(一部地上案)」最適と考えた理由

- ○案2′は、自然環境と景観に配慮ができること
- ○保育園裏からの**津波緊急避難路との接続が容易**であること
- ○案2 (トンネル案) の600m近い長いトンネルであることで求められる**安全対策等(防災及び治安面等)が、二本の短いトンネルにすることで不要**となること
- ○トンネル内で避難等をする際に**長いトンネルであることの不安感などが解消された**こと
- ○他の案では**奥村集落と近接しており**、騒音等の懸念があるが、**案2′ではそれらが解消される**こと
- ◆道路幅員について
  - ○トンネルおよび橋梁を通過する車両の安全性と、一部地上部分との接続性等を勘案し、幅員7mで整備されることが必要と 判断する

●問合せ先:防災道路の必要性に関すること

村役場総務課総務係

 $2 - 3 \ 1 \ 1 \ 1$ 

行文線未整備区間の整備に関すること

小笠原支庁土木課

 $2 - 2 \ 1 \ 6 \ 3$